

令和元年度 第2回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和元年12月4日(水) 午前9時55分 開会
午後0時15分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 中会議室
- 3 出席者
・町長 佐野 和広 ・教育長 芦澤 和彦 ・教育長職務代理者 四條 勉
・教育委員 河内 留美 ・教育委員 佐野 保仁 ・教育委員 入月 一巳
- 4 事務局等の出席者
町長部局 総務課長 小倉弘規
教育委員会事務局 学校教育課長 市川 隆
- 5 協議事項
(1) 教育振興基本計画について
(2) 富沢小学校開校について
(3) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開会 四條勉教育長職務代理者

おはようございます。町長にはお忙しい中をこの会に参加していただきありがとうございます。なかなか今年はお会いする機会が少なくご挨拶もできませんが、大変ありがとうございます。

平成31年、令和元年が12月に入って、あとわずかというところまで来ました。ここ数日、実は私は4時起きが目覚ましを3日ほどかけて朝早くから動きましたが、今日は本当はゆっくりできるはずだったんですけど、やはり4時に目が覚めるといのか脳が動き出してしまうという、改めて人というのは環境に適応するといつか順化するんだということを感じました。今日の議題につきましても、子どもたちの置かれている生活環境・教育環境についての基盤をなすといつか大本になりますので、是非忌憚のないご意見を皆さんから出していただき充実した会議になるようお願いをしたいと思います。

それでは、令和元年度の第2回南部町総合教育会議を開始したいと思います。よろしくお願いたします。

2 町長あいさつ

改めまして皆さん、ご苦労様でございます。今年も暮れですけど、今年6月以降予想以上に多忙と言いますか外に出る機会が多くなりました。留守がちとなった町政ですが、職員を信頼して指示を出し、概ね良好に進めることができたと思っています。

この6月に町村会の会長になりまして、様々な行事に参加しました。その中に「甲斐の塔巡礼の旅」がありました。これは毎年山梨県の遺族の方たちが沖縄県にあります「甲

斐の塔」に参拝するもので、今年は約40名が参加して実施されました。私は2回目の参拝になりますが、改めて遺族の方々の戦没者への思い、祖国への思いを感じ、深く記憶に残る行事となりました。一方、今年は全国各地で災害が発生しました。中でも今までは災害が少ないと言われた関東地方が大きな被害を受けました。私も町村会代表として千葉県に義援金を届け、話を聞いてきました。南部町も同じ台風による災害がありましたが、人的被害がなかったのが安堵しつつ千葉県内の首長に電話で見舞ったのですが、死者が出た自治体は甚大な被害だったことがわかりました。自然災害は人の力が及ばないところもありますが、我々にとって最も大事なことは迅速な対応だと思います。いかに対処すべきか迅速に判断することが肝要です。他には、宮様と会食するという初めての経験をしました。国会議員と食事を共にすることはよくありますが、皇室はやはり特別でした。

今日は第2回総合教育会議です。この総合教育会議は非常に良い制度だと思っています。今まで教育については、ほとんど教育委員の方々にお任せしていましたが、行政としての考えを伝える場が設けられ、相互理解の下に連携して教育行政が進められるようになったからです。

いよいよ来年4月から富沢小学校がスタートします。それに向けての話し合いもあるでしょうが、いろいろな意見を言っていただきたいと思います。私としては、聞く耳を持ち、皆さんからのご意見を大いに取り入れていきたいと考えています。南部町の子どもたちの将来に向けて、何としましても良い環境を整備して行きたいと思っています。

本日は活発なご意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。

3 教育長あいさつ

皆さん、ご苦労様でございます。今年は町長がお忙しい、また、私たちも教育振興基本計画案の策定作業が遅れていたという関係で、この会議の開催時期が例年より若干遅れています。お許してください。

前回会議以降、世間ではいろいろな事件がありましたが、一番ショックを受けたのは、スマホのつながりだけで簡単に女子生徒が連れ去られた事件です。無事に親元に帰ることができたのでほっとしていますが、このような事件は地域に関係なく、いつここで起こってもおかしくないということで深刻に受け止めています。小さいうちからしっかりした取組が必要だと感じました。いずれにしても命を大事にする教育は、生涯学習の中でも積み上げていかなければならないと思っています。

数日前に西の山が白くなっていてびっくりしました。11月から12月初旬を「小春」と言うのだそうです。日中は春を想わせるような天候なのですが、朝夕は冷え込みが厳しくなっていますので体調管理にご留意いただきたいと思います。

本日はお集まりいただきありがとうございます。この時期になりますと次年度の準備が始まり、1年間を振り返る時期にもなり、ここにお集まりの皆さんも日々多忙感を持ってお過ごしのことと思います。本日は第2回総合教育会議となりますが、前回同様、教育振興基本計画が中心となります。あわせて、富沢小学校開校に向けての問題と全国学力・学習状況調査の結果について議題といたします。特に教育振興基本計画について

は、教育大綱改訂に続いて1年を通して追求する重さを持っているとっておりますし、町の将来や教育のこれからの深く関わるテーマだと捉えています。ここに来て、このテーマについての輪郭が一層はっきりしてきたと思っております。この輪郭をさらに明確にして納得できる形にしていくためにも、この会議で皆さんの活発な議論をいただきたいところです。次回の総合教育会議までには結論を出して、4月以降に備えたいと思っております。2時間という限られた時間ですが、よろしくお願いいたします。

4 議事

(1) 教育振興基本計画について

[教育長が、教育振興基本計画の方向性を確認する資料について説明しました。]

(教育長) 今日、教育振興基本計画の方向性についてご意見をいただきたいと思っております。

この計画は、教育大綱を土台として「生涯学習 生涯スポーツに関すること」「学校教育に関すること」「地域の教育力に関すること」の各分野におけるより具体的な取組方針を示すものです。そこには、教育に対する地域社会の連携の強化と一貫した理念に基づく生涯学習の実現、担当部署それぞれの役割の明確化が求められます。また、取組の成果に係わる点検・評価を、より客観的にできるようにすることも必要になります。

(四條委員) 今日の会議を受けて、それぞれの分野における検討に入っていますが、子ども達という部分に係わっては学校教育が中心になり、生涯学習・生涯スポーツに係わってはどちらかというと成人が中心になっているイメージがあります。ですが、子どもたちの育成における、いわゆる種まきに関する部分はどちらが扱うべきか判断に迷うところがあります。どこかで取り上げられれば問題はないのですが、担当部署との係わりも出てきます。大本ではなくとも具体的な施策において生涯学習分野でも盛り込みたいと思っております。

(教育長) 基本的にはそれで良いと思っております。部門間で重なる部分も出てきますが、厳密な区分けが適当でない場合もあります。

(佐野委員) 子どもたちのことに関しては、学校教育の中で扱うけれど、生涯教育の中に入れていくように考えても良いということの確認でよろしいでしょうか。

(教育長) はい。一方づけると、もう一方は取組まないのかという問題が生じます。ただし、そのことに関する説明が必要になると思っております。

(佐野委員) 学校教育の「多様な課題やニーズに応じた教育の推進」に特別支援教育、キャリア教育が取り上げられていますが、これらは今日的課題というよりも他の学校教育の項目に入れ、特に取り出す必要はないと思っております。

(教育長) わかりました。他の項目に含めることができるものは、そちらに移行したいと思います。ただし、中には独立して残さなければならないものもあります。

(佐野委員) 他の項目に移す判断は、学校教育担当委員が担当することになりますか。

(教育長) それが良いと思っております。

(教育長) 佐野委員のご指摘以外に「放課後子ども教育・学童保育の充実」という項目がありますが、これは子育て支援に係わる部署との連携が必要になります。そういったことも含めて作業の段階では明確にしていかなければならないことがあります。町の施策と連動

する部分が多数入っているということもご理解いただいて作業を進めていただきたいと思います。

(教育長) 冒頭、担当部署それぞれの役割の明確化が必要だと申し上げましたが、福祉保健課や子育て支援課など、関係する部署の確認を得ながら仕上げていきたいと考えています。

(四條委員) 「ふるさと教育」に係わって、今、山梨県民の歌が話題になっています。小学校でも中学校でもこの歌を教えていないと思います。南部町の歌についても、同様ではないでしょうか。楽譜を見ずに歌えるのは町長ぐらいしかいないのではないのでしょうか。あとは合唱団のメンバーくらいでしょう。教育課程にはないと思いますが、「ふるさと南部」という形で伝えるべき、教えるべきことをきちっと示すべきでしょう。山梨県民、南部町民として、こういったことを押さえた上で子ども達に成長していってほしいと感じました。

(町長) 成人式などで歌われますが町歌は覚えやすく、とても良い歌です。県民の歌も覚えるのは簡単です。機会があれば取り上げていただきたい。情操教育ではありませんが、これは必要なことです。県民の歌を歌っている市町村はないと思います。ようやく県議会が動き出して歌いましょうということになりました。

(佐野委員) 個人的には、町歌はしっかり教えて町の式典などでは歌うことにしてもよいと思っています。

(町長) 私も学校で取組んでいただきたいと思います。

(教育長) 学校現場では、式典で国歌と校歌を歌うことが多いようです。町歌については、現場が判断していくことになると思いますが、投げかけていきます。

(小倉課長) 読まない、読めるけれど書けないといった子どもの読書習慣についての記事が今日の新聞記事にありました。学力の低下とはまた視点が違うのですが、子どもたちにスマートフォンなどが普及して本離れが進んでいるようです。せっかく南部町は、図書館と学校をネットワークで繋げているのですから、子どもたちが本を読む、読書に親しむという取組を計画に盛り込んでいただきたいと思います。

(教育長) 読書離れは学力・学習状況調査でも問題視されています。計画の中に取り上げる予定です。ありがとうございます。

(町長) 現在はデジタル、ITの時代ですが、南部町とすればごく基本的なこと、つまり読み、書きの指導に力を注ぐ町を目指したいと思います。教育は飛躍でなく積み重ねが大事ですから、そこを大事にして次の段階に進む形が望ましいと思っています。

(教育長) 学びは基本的なことを大事にしなければなりません。読むこと、書くことに加え、伝える力を身に付けることも大事にしながら、無駄な表現を削いでいきたいと思っています。

(町長) 町は、南部氏の館をつくりましたし、近藤喜則史料展示室もつくりました。まだ、できたばかりですから十分利活用されているとは言えませんが、ふるさと南部の誇りとしてこれらのことを小中学生にしっかり学んでもらいたいと思っています。私も今年から様々な会議に出席することになったわけですが、それらの席で南部町は南部氏発祥の地であることを紹介しています。南部氏は、国内では島津氏と並んで800年の歴史がありますから、皆さんとても驚かれます。こういった南部町の誇れる歴史を是非子ども

たちに伝えたいのです。そのために、子ども達にわかりやすい冊子を作ってもよいのではないかと思います。

(教育長) 只今の町長のご意見は、「ふるさと教育」として学校の教育課程にも位置付けています。現在、近藤喜則史料室では子どもに指導できる資料の作成に取り組んでいます。

(町長) 南部氏や蒙軒学舎について調べていくと、日本の歴史に登場する人との関連などが出てきて、子どもたちが興味を持つきっかけができます。そこからより広く深い学びが期待できますから、今あるものを大いに活用していきたいと思っています。

(教育長) 子どももですが、大人も足を運んでいただくような仕組みを考えていきたいと思っています。

(佐野委員) 余談ですが、山梨県立美術館には近藤浩一路のコーナーがあります。そこで作品を鑑賞していた時に、横にいた人たちが「これは南部町の美術館にある絵の人の作品だよ」と話していました。偶然かもしれませんが、町外の人が知っていることに驚きました。

(入月委員) それは常設ですか。

(佐野委員) 常設です。

ふるさと教育に関しては、小学生の時から見学することが大事ですし、その子たちによくわかるような説明が必要であり、その体験を続けていくことが大切だと思います。

(教育長) 各年代にわかるような説明が求められます。

(町長) 南部町には若林中隊長の話もあります。先日、防衛大学の先生が来町されました。

(小倉課長) その先生は関口准教授という方です。若林東一さんのことを専門に研究されており、何度も南部町に足を運んでおられます。

(教育長) そろそろ予定している時間になります。今後、各分野を教育委員の皆さんが分担して肉付けをする中で、重複する部分の扱いやどこに軸足を置くかといった判断を経て仕上げていただきたいと思います。

(2) 富沢小学校開校について

[学校教育課長が、富沢小学校開校までのスケジュールと開校後の課題への対応について以下のおり説明しました。]

①富河・万沢小学校閉校記念式典について

- ・富河小学校閉校記念式典は、令和2年3月20日(金)9:00開式で閉校式と閉校記念行事の2部構成とする。
- ・万沢小学校閉校記念式典は、令和2年3月20日(金)13:30開式で閉校式と記念碑除幕式、閉校記念行事の3部構成とする。

②富沢小学校開校記念式典について

令和2年4月6日(月)9:00開式とする。

③スクールバス運行について

正座席33のバス1台(現在の南部中学校1号車)及び陵草地区児童用のタクシー1台で、登校時1便、下校時1便の運行とする。

④夏季休業中のプール開放について

富沢小学校のプールを開放し、万沢地区の児童はスクールバスで送迎することとする。

⑤児童館、放課後児童保育について（子育て支援課より）

- ・児童館 授業日は、富河・万沢児童館を開館し、長期休業期間は富河児童館を開館
- ・放課後児童保育 授業日に富河・万沢地区で実施

⑥校歌について

イルカ・オフィスにより制作中。3月上旬に歌唱指導を計画中。

⑦校章・校旗について

富沢小学校開校後に児童からデザインを募集する予定。

(町長) 富沢小学校の開校記念式典後に入学式を行うのですが、他の小学校も同じ日に入学式を行うとなると移動の問題が出てきます。

(事務局) 日程的に日をずらすのが困難です。

(教育長) 移動時間を考慮し、時間をずらして行う予定です。

(四條委員) 会場は体育館ですね。富河小学校の開校式に350人を想定していますが、椅子を用意するとして、入りきるのか確認する必要がありますか。

(事務局) 富河小学校が想定した人数です。

(教育長) 全面を使うことになると思います。

(町長) 駐車場も問題です。

(事務局) 雨天の対応を考えなければなりませんし、地元の皆さんには自動車以外での来場をお願いすることも考える必要があります。

(教育長) 富河小学校は、裏にもグラウンドがありますが、万沢小学校はグラウンド以外に使える場所がありません。両校にシミュレーションを依頼します。

(入月委員) 万沢小学校閉校記念行事の委員会の人たちが司会進行を誰にするか迷っているようです。富河小学校は決まっているのでしょうか。

(事務局) 聞いていません。

(教育長) 万沢在住で適任と思える人が何人かいます。

(四條委員) 万沢小学校の閉校記念行事にヤマダ・ミュージックランドを招く予定になっていますが、会場の広さが問題にならないか心配です。

(教育長) 学校に確認します。

(佐野委員) 私も閉校に係わったことがあります。閉校式後に借りてきた椅子を片付ける人がいなくなってしまうため、地域の人たちには座布団持参で参加していただきました。

(四條委員) トイレのことも気になりますが、まだ時間がありますからしっかりと確認しておいたほうが良いと思います。

(教育長) そういったことも含めて学校と詰めていきたいと思います。

(佐野委員) 陵草地区からタクシーで通学する児童の学年と下校時間について教えてください。

(事務局) 現在、1・3年生の2名です。下校時間は他の児童同様、一斉下校の時間を想定しています。

(事務局) プール開放につきましては、教育四者からアルカディアプールが利用できるよう

にしてほしいとの要望が出ていますが、スクールバスの配備状況等から現状では無理です。

(教育長) 富沢小学校のプール改修も計画しています。そういったこともご理解いただきながら運用していく考えです。

(教育長) 校歌については、学校教育課長が説明したとおりです。校章については、開校に間に合わせたいという学校からの声もありましたが、子ども達が新たな学校で交流する中で描けたものを形にしたいという教育委員会の方針を理解していただきました。

(3) その他

①全国学力・学習状況調査の結果について

[教育長が、令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について、資料により説明しました。]

(教育長) 本町の調査結果については、個人が特定されないように配慮しながら、各小中学校において、分析に基づく概要と傾向、また個人の結果と併せて今後の学習指導のありようについて、面談等の機会を通じて、学級担任から児童生徒と保護者に伝えるようにしています。

(町長) 生活習慣に関する調査結果を見て、私は、子ども達にもっと防災訓練や環境美化活動に積極的に参加してほしいと感じました。特に防災訓練への参加を重視します。昼間、大人がいない時間帯に災害が起きたら、子どもたちの力が必要になります。学力に関しては、先程も話題になりましたが、読み、書き、計算といった基礎的なことにしっかり取り組む必要があると感じました。学校の取組として具体的な方策が必要ですし、ある程度強制力を持たせてもよいかもしれません。すぐに結果が出るわけではありませんが、それによって諸問題が解決するのではないかという気がしました。

(教育長) 防災については、教育振興基本計画でも触れていますが、中学生であっても地域の力となる場面があるということを具体的に挙げていきます。中学校も地域の行事にできるだけ参加するよう指導しています。

(河内委員) 高校1年の息子が内船上区のトリアージ訓練に参加したので感想を聞いたところ、ちょっと嬉しそうに「こういう時、僕らの力が必要なんだ。僕たちも役に立つ。」と誇らしげに話してくれました。

(四條委員) 小学6年生の学習・学校生活等に関する調査結果についてですが、授業時間以外の勉強時間が全国平均を上回っていますが、学力調査ではどちらかというところできないという結果になっています。そういう状況を捉えたときに、同じ時間取り組むとしても集中力が欠けているのではないかというところに行きつくのです。そういった違いの積み重ねが大きいと思います。ただ、家庭学習は保護者の方々に見てもらうしかないので、どれだけ目が行き届いているか気になるところです。

(佐野委員) 中学生は、テレビをつけながら勉強する時間も含んで回答する子が結構多いのではないのでしょうか。テレビはつけずに勉強する指導を学校でしていると思いますが、それを家庭に強く求める必要があると思います。

(町長) 子どもがやらざるを得ないという状況をつくることも一つの方策です。

(教育長) いただいたご意見は、校長会で伝えていきたいと思います。

②防犯カメラについて

[町長から、町長と語る会で学校への防犯カメラ設置の要望があったことが紹介されました。]

(町長) この地域では、これまでそういった事案がありませんでしたし、今後もその可能性は低いと思っています。皆さんの考えをお聞かせください。

(教育長) 今、全国的な話題になっています。睦合小学校は、職員室から校庭を見ることができない学校ということで設置要望が出たようです。各校で令和2年度当初予算要望を作成しているところですが、防犯カメラの予算要望はありそうですか。

(事務局) あります。設置には100～130万円程度かかりますが、その後のコストはわずかということのようです。設置による抑止力効果も期待できるということで要求するようです。

(町長) 今日、午後に予定されている教育四者の要望にもありますか。

(事務局) 具体的には無かったと思います。

(教育長) モニターを注視し続けることは不可能です。抑止力としての働きと記録としての利用が考えられます。

(佐野委員) 睦合小学校は、職員室から校庭が見えないという問題を抱えていますから必要なかもしれません。一方、富河小学校や栄小学校は、裏から侵入されたいけませんが、しっかり見えますし、職員の目と共に地域の力もありますから、それほど必要性は感じないのかもしれません。町長と語る会での意見は、睦合小学校は、放課後が問題になるという意見だったようですが、町長いかがでしょう。

(町長) そうです。目が行き届かなくなるということでした。ですが現在、旧睦合保育所をふれあいセンターと放課後児童保育の機能を持つ施設にする準備をしているところでして、そこからは見えるわけです。ですから、そちらで気遣っていただければ、事故は防げるのではないかと思っていますところでは。

(教育長) 学校にも見守り隊があり、地域の人たちにはそういった投げかけをして、早めの見守りをしていただいたり、交通防災課から青色パトライトを借用して設置したりして事故防止に取り組んでいます。

(町長) 私としては、防犯カメラの予算化は見送りたいと思っているのですが、この会議で皆さんの考えをお聞きしたい。

(四條委員) 悠仁殿下が在学されている校舎に押し入って凶器を置いて行った事件がありました。学校に何かしようと考えたら、防犯カメラがあっても、入れないという状況をつくらないかぎり、止めることはできません。防犯カメラがあるから安心だということではなく、どうすれば防止できるかということを考えないといけません。例えば子ども達が外にいる時間帯に目が離れているのであれば、付くしかありません。子ども達が校舎内にいる場合は施錠して防ぐところまでやらなければならないでしょう。これらを先生方の負担でできないということであれば、別の策を考えなければなりません。睦合小学校については、子ども達が外にいるときに誰も見ていないということは、何か事故が起

きたとしても連絡が入るまで分からないということになり、それはおかしいのではないのでしょうか。他の学校では当番制で誰かが見ているはずですが、そういうところまでは、職員努力でやってもらいたいです。その時に地域との連携が図られれば良いと思います。(教育長) 睦合小学校については、会議時間と重なったために目が離れてしまったという状況だったようです。学校現場でできることは対応を求めます。四條委員のご意見は、今後の大きな課題と言えるでしょう。確かに今の職員体制では付けても見てもらえません。(佐野委員) 低学年は、不審者が来たら固まってしまうかもしれませんが、防犯教育を徹底し、例えば何かあった時は高学年の誰かが職員室に急報するといった指導をしておくことが必要だと思います。

(教育長) 防犯だけでなく防災についても伝えるということは大事です。最後は人間で守るしかないという部分もあります。

(町長) 予定時間を過ぎてしまいました、もう一つよろしいですか。

実は、総合会館のことです。この建物は耐震化されておらず老朽化も進み、危険な状態であるため解体します。ところが総合会館には、内船歌舞伎の道具などが保管されており、解体する際、移管先がありません。そこで旧富河中学校校舎を改装して移すことを検討しています。さらに次の段階として、総合会館同様、老朽化が問題になっている富沢図書館の機能も移したいと考えています。富沢図書館は、本来であればアルカディア図書館に持ってきたいと思っていたのですが、そうは言っても富沢地区で利用されている方が年間4千人ほどいらっしゃるため、旧富河中学校の1室を富沢図書館として活用したいと考えています。教育委員会の皆さんのご意見をいただきたい。

(教育長) 総合会館が耐震化されていないことについては、以前から問題視されてきましたし、文化ホールの駐車場が狭いといった問題もあり、いつ解体するかという状況です。同施設は、内船歌舞伎の課題もありますが、それ以外に23団体の拠点にもなっていますので、今後どうするか生涯学習課が詰めているところです。富沢図書館についても老朽化が深刻で、町長の基本的なお考えはアルカディア図書館への一本化ですが、富沢図書館の利用者の状況や児童館の児童の利用、「知の拠点」を富沢地区に残したいという思いもあるということで旧富河中学校の活用を考慮されています。

(佐野委員) 危険な建物なら取り壊しは当然だと思います。そこで富沢図書館を旧富河中学校に移していただけるなら、子ども達にとって非常にありがたいことです。将来的にアルカディア図書館に一本化することは致し方ないと思っていますが、新たにスタートする富沢小学校の児童が使える施設が整備されることは良いことだと思います。

(入月委員) 同感です。富沢に「知の拠点」として図書館機能を置いておきたいので、図書館の一本化には抵抗を感じますが、旧富河中学校を活用した図書館移転は良いと思います。

(河内委員) 良い考えだと思います。

(四條委員) 富沢図書館については、アルカディア図書館よりも利用率が高いのではないかと、また、利用者が困らないようにすべきだという話を以前しましたから、そういう点では旧富河中学校への移転はありがたいです。総合会館についても常に気になっていましたが、内船上区は、総合会館が無くならない限りは活用するというイメージを持っている

方が多いので大変困ります。また、地震災害における避難所と考えている人がまだ多いと感じています。危ないのできちっと取組んでいただきたいと思います。

(町長) 過日の台風で総合会館3階が破損し使えなくなっていました。

(教育長) 教育委員会の意見をまとめますと、総合会館については、耐震の問題が出ている以上、解体は致し方ありませんが、解体までの間に現在の利用者の行先等が解決されれば問題はないでしょう。図書館は、残していただきたいということで旧富河中学校の跡地利用と併せて取組んでいただきたい。ということでよろしいでしょうか。

【異議なし】

(教育長) 以上で議事を終了したいと思います。

ありがとうございました。

5 閉会 河内留美委員

長時間にわたり、お疲れ様でした。

12月に入り、何かと忙しくなってきます。今年はインフルエンザの流行が早いというニュースがあちこちであり、山梨県内も学級閉鎖となった学校が新聞に出ていましたので、健康に留意して過ごしていきたいと思います。本日はお疲れ様でした。